



求職中も入園可能

の負担軽減ができた。食材費は父母負担が原則。今後、食材の値上がりなど、栄養確保上問題が生じた時などには検討することも考えられる。

問 保育料は近隣で無料化に踏み切る所もある。労働環境の厳しい中、子育て支援、少子化対策で負担軽減への考えはどうか。また、求職中の入園申込みは可能か。(鈴木)

答 平成17年度改定を行い、現在も市の保育料は国基準比で30%減額となっており、見直しの考えはない。「求職中」については申込み要件となっており、3カ月間は保育園に預けての求職活動ができる。年度途中でも対応する。

◆教育相談体制の充実を

問 第三者機関による相談窓口設置の考えは。(宮田)

答 学校や教育委員会がより

相談しやすい窓口を目指す。**問** 相談窓口の必要性を調査してはどうか。(宮田)

答 調査する。(宮田)

◆読書活動環境の充実を

問 学校図書館のデータ化に伴い、蔵書を学校間で入れ替えてはどうか。(宮田)

答 司書と相談し、図書の有効活用をしていきたい。

問 高額な図書セットが、学校規模に関わらず購入できるよう、予算配分の配慮が必要ではないか。(宮田)

答 学校の規模で不平等が起こらないようにする。

◆子どもの支援体制の充実

問 学校スーパードバイザー設置の目的と内容は。(丸山)

答 不登校や課題を抱える児童生徒への支援に取り組んできたが、小学校から中学校までの連続性の強化も必要と考



充実が求められる学校図書館



塩尻児童館

え養護教諭資格者を採用し、相談員等とチームを組んで市内全小中学校を訪問。児童生徒の支援だけでなく、保護者や教職員へのカウンセリング等の支援もしていく。

◆子どもの権利相談室等の仕組みづくりについて

問 子どもの権利を守り成長支援する仕組みは。(西條)

答 学校・家庭・行政・関係機関が協力して取り組んでいく。

◆放課後児童対策について

問 親の働き方や安心安全な環境を守るため、児童クラブ等の運用を見直すべきだ。子ども子育て3法の成立により、児童クラブ利用の対象が低学年から6年生まで拡大、自治体での条例化が決まっているが、市の準備状況はどうか。設置目的も運営も違う児童

館・児童クラブは将来的に分けるべきだ。(中村)

答 4年生以上の利用の希望も多い。条例については設置基準等まだ示されていないため、決まり次第必要な対応は考える。当面の対策として、今夏休みから長期休業時に4年生以上を児童クラブで引き受ける。通常については、地域の公共施設の活用も踏まえ運用方法を検討する。



◆予防接種で風疹予防を

問 流行が拡大している。妊婦への感染防止に妊婦の夫などに接種補助の考えは。(山口)

